

# 令和元年度 半田市障がい者自立支援協議会 子ども部会 ターゲット別研修①「初任者研修」

発行元：半田市 令和元年6月

ターゲット別研修として今年度初回となる研修は、子ども部会ワーキンググループが主体となり企画、実行いたしました。市内事業所の1年目～3年目程度の職員を対象に、約30名の方に参加していただき、初任者の方へ放課後等デイサービスの目的や役割を丁寧に伝える内容となりました。

日時：平成31年4月24日(水)10:00～12:00

場所：半田市役所 大会議室(4階)

対象：主に現場職員(1年目～3年目程度) 進行：都筑(つくし学園)



## 1 障がい児通所支援事業の目的

講師：西井 竜二 氏(夢時計)

## 2 現場職員に期待されるライフステージと障がい特性を踏まえた支援

講師：福田 友剛 氏(TSヒマワリ)

## 3 演習：承認の輪を広げよう ～お互いを認め合うチームづくり～

講師：福田 友剛 氏(TSヒマワリ)

### 放課後等デイサービスとは

発達に課題がある小学生1年生～高校3年生の児童が療育を受けられる場であり、社会に向けて、生活のスキルや技能スキル、対人スキル、感情コントロール等を学ぶことができる福祉事業です。

### 放課後等デイサービスの役割

- ① 子どもの最善の利益の保障
- ② 共生社会の実現に向けた後方支援
- ③ 保護者支援

### 支援のポイント

#### ◆「過去」を知り、「未来」をイメージすることで「今」を支援できる。

子どもたちが自分自身で先を見通すのは難しいです。また保護者が障がいの程度に関係なく我が子の人生を考えていくことは大変です。私たちは保護者がどんな悩みを抱えてどう乗り越えてきたか、子どもがどういうところで活躍してきたか、将来の目標やゴールを保護者や本人からしっかり聞くこと。過去を知り、将来どんな活躍ができるのかを想像し、その上で発達課題を踏まえながら「今」何ができるのか、何が必要かを考えて支援することが大切です。

#### ◆子どもは「体験・経験」によって成長する。

子どもは、「成功」や「失敗」を体験・経験することで成長します。ただし、ここでの「失敗」で重要なことは保護者や支援者などに見守られた、安心してチャレンジできる支援付きの試行錯誤(意図的な失敗)です。支援者が「やったことがない、やらせたことがない」をしっかり聞き、その上でじっくり取り組む機会の提供、口出しをせずに見守る支援が大切です。

### ☆グループワーク☆

講演後、5人～6人のグループに分かれてクロスロードゲームを実施しました。「賞味期限3か月が過ぎたカップラーメンを食べますか。」などの質問にYES・NOで回答を出し合い、参加者が様々な意見を出し合い、大変盛り上がる内容となりました。一人一人の意見や思いは違うことを認め、他者の意見を聴く大切や、自分の思いを丁寧に説明する重要性を学んでいただきました。



### ～参加者アンケート～

放課後等デイサービスの役割について改めて確認する事ができました。支援のタイミング一つ一つにおいて利用者本人はもちろん、親にも悩みがあり、それを助ける支援が必要であると思いました。

### 問い合わせ先

発達支援相談あゆみ(都筑)

TEL 0569-21-6077

半田市役所子育て支援課(梁川)

TEL 0569-84-0657